



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月28日

上場会社名 株式会社帝国ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 鈴木龍太 TEL 03-3504-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,363	△1.0	1,576	△47.9	1,866	△43.5	2,402	△26.5
2024年3月期第3四半期	39,766	25.5	3,024	460.5	3,302	103.5	3,267	80.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,382百万円(△33.2%) 2024年3月期第3四半期 3,568百万円(88.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	20.25	—
2024年3月期第3四半期	27.54	—

(参考) EBITDA 2025年3月期第3四半期 3,378百万円 2024年3月期第3四半期 5,180百万円

(EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

(注) 当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	70,796	44,706	63.1
2024年3月期	65,706	43,036	65.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 44,706百万円 2024年3月期 43,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.00	—	4.00	—
2025年3月期	—	2.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2024年3月期の第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の2024年3月期の第2四半期末の1株当たり配当金は2円となり、年間の1株当たり配当金は6円になります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△0.6	1,500	△47.2	1,850	△43.9	1,800	△46.7	15.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	118,800,000株	2024年3月期	118,800,000株
2025年3月期3Q	151,976株	2024年3月期	151,976株
2025年3月期3Q	118,648,024株	2024年3月期3Q	118,648,024株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスクの高まりや原材料・労務費の高騰など先行き不透明な状況が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているものの、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかに回復してまいりました。

このような環境下、当社グループにおきましては、今年度から「中長期経営計画2036」のフェーズⅡを迎え、ホテル事業を中心に高品質な商品、サービスの提供に一層努め、DXの推進などにより業務の効率化を図ることで利益の最大化を目指してまいりました。

当社グループは、京都の新規ホテル開業や、東京事業所の建て替えなど、未来へ向けて新たな価値を創造する取り組みを進めており、2024年11月には多様化するニーズに応え、ホテルという枠組みを飛び出した“もう一つの(=another)新しい出会いの場”として、オンラインモール「ANOTHER IMPERIAL HOTEL」をオープンし、新規事業の展開に取り組んでまいりました。

一方で、再開発計画に基づき、タワー館建て替えに向けた不動産賃貸収入の減少や費用の計上があり、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.0%減の39,363百万円となり、営業利益は前年同期比47.9%減の1,576百万円、経常利益は前年同期比43.5%減の1,866百万円、これに特別利益を計上した親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比26.5%減の2,402百万円となりました。

加えて、「中長期経営計画 2036」でも定量目標の一つにしておりますEBITDA（経常利益＋支払利息＋減価償却費）においては、前年同期比34.8%減の3,378百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比3.3%増の39,182百万円、営業利益は前年同期比8.4%減の3,801百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比90.1%減の183百万円、営業損失は278百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し70,796百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.7%減少し30,006百万円となりました。これは有価証券の減少などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて35.5%増加し40,790百万円となりました。これは有形固定資産の増加などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.8%減少し9,445百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて62.0%増加し16,644百万円となりました。これは長期前受収益を計上したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し44,706百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月26日に発表いたしました通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,739	13,140
売掛金	3,524	3,456
有価証券	18,599	11,735
貯蔵品	931	1,027
その他	815	648
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	35,606	30,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,369	10,533
建設仮勘定	6,062	10,742
その他（純額）	3,475	7,388
有形固定資産合計	16,907	28,664
無形固定資産	1,525	1,609
投資その他の資産		
投資有価証券	5,950	5,789
その他	5,716	4,726
投資その他の資産合計	11,667	10,515
固定資産合計	30,100	40,790
資産合計	65,706	70,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,190	1,637
未払法人税等	159	48
未払費用	2,888	4,724
前受金	819	632
預り金	1,218	478
賞与引当金	1,184	417
その他	4,932	1,505
流動負債合計	12,394	9,445
固定負債		
退職給付に係る負債	6,696	6,605
資産除去債務	1,028	1,029
長期前受収益	-	6,334
長期預り金	1,738	1,881
その他	812	793
固定負債合計	10,276	16,644
負債合計	22,670	26,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	39,018	40,709
自己株式	△89	△89
株主資本合計	41,792	43,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,388	1,350
退職給付に係る調整累計額	△145	△126
その他の包括利益累計額合計	1,243	1,223
純資産合計	43,036	44,706
負債純資産合計	65,706	70,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	39,766	39,363
材料費	8,130	7,950
販売費及び一般管理費	28,612	29,836
営業利益	3,024	1,576
営業外収益		
受取利息	19	38
受取配当金	36	50
受取手数料	130	131
持分法による投資利益	47	33
その他	47	46
営業外収益合計	281	300
営業外費用		
支払手数料	2	10
営業外費用合計	2	10
経常利益	3,302	1,866
特別利益		
投資有価証券売却益	-	564
特別利益合計	-	564
税金等調整前四半期純利益	3,302	2,430
法人税、住民税及び事業税	21	16
法人税等調整額	14	12
法人税等合計	35	28
四半期純利益	3,267	2,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,267	2,402

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,267	2,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	△41
退職給付に係る調整額	13	18
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	301	△19
四半期包括利益	3,568	2,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,568	2,382

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,925	1,840	39,766	—	39,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	37,925	1,848	39,774	△7	39,766
セグメント利益	4,152	512	4,664	△1,640	3,024

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,182	180	39,363	—	39,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	39,182	183	39,365	△2	39,363
セグメント利益又は損失(△)	3,801	△278	3,523	△1,947	1,576

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,877百万円	1,512百万円